

～ 自律 × 創造 × つながり力 ～

令和3年2月号



校報



丹波市立中央小学校

TEL 82-1033

FAX 82-1508

校報ホームページ

町の幸福論～丹波市の未来を考える～

町の幸福論という国語の単元で、6年生が丹波市の未来を考えました。丹波市の課題を一人一人がタブレットを使って資料収集、課題設定してから、解決策を考え、自分の提案をプレゼンテーションしました。

高齢化を丹波市の課題とした児童は、丹波市の現状を知るため、インターネットを使って高齢化率を調べました。総務省データによると2020年では全国平均が約29%、丹波市は約35%。予測では2040年の高齢化率は、全国平均が35%、丹波市は約42%になることがわかりました。そこから、丹波市の未来の姿を「高齢者と若者が一緒になって働ける町」としました。高齢者にとって、健康、地域の人のつながり、若者との交流が大切であると考え、具体的な方策を発表しました。

1人1台のタブレット端末の導入によって、これまでにない学び、教科を横断した、情報活用型の授業に取り組んでいます。SOCIETY5.0 (ソサエティー5.0 ※1) に生きる子どもたちにとって必要な力を身につけていきます。



※1 Society 5.0

サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)。狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く、新たな社会。第5期科学技術基本計画で我が国が目指すべき未来社会の姿として示された。



寒さに負けず

2年生は凧作りに挑戦

しました。竹ひごと紙で一人一人がオリジナルの凧を作りました。凧糸を結びつけるのに苦労しましたが、糸の長さを調整して一番よく飛ぶ角度を考えました。一生懸命走って、凧が高く上がったときにはうれしさ一杯になり、さらにスピードを上げて走りました。



うし年なので

3年生は、赤べこづくりに挑戦しました。ふくらませた風船に、新聞紙や和紙を貼っていき、丸い形ができたところで固めてから風船を縮ませます。絵具で頭と胴体に色付けをして、輪ゴムでつなぎます。針金で足などを作ると完成です。製作途中では、ゲゲゲの鬼太郎に出てくる、目玉おやじのようでしたが、完成させるとかわいい赤べこになりました。



スペシャルな授業

中央小学校では、たくさんの目で一人一人の子どもを見ていくために、高学年（4、5、6年）で複数担任制を実施しています。中学校のように教科ごとに担当教師が替わり、クラス担任も替わっていきます。さらに2月3日、4日には、学年の枠を越えてスペシャル授業を行いました。いつもは高学年を担当している教師が低学年へ行ったり、低学年の担当が高学年の授業をしたりしました。だれの授業になるのか、みんなワクワクしながら教室で待っていました。校長、教頭も参加して、いつもと違うスペシャルな授業を楽しみました。



1年 算数



4年 図工



5年 社会

3月の予定



- 2日（火） 登校練習
- 5日（金） 6年生を送る会
- 19日（金） 給食最終日
4時間授業 下校 13:20
- 22日（月） 大掃除
3時間授業 下校 11:20
- 23日（火） 卒業式
3時間授業 下校 11:20
- 24日（水） 修了式
3時間授業 下校 11:20
- 25日（木）～4月6日（火）
春季休業日

4月の予定

- 7日（水） 始業式
入学式準備
- 8日（木） 入学式



＝新型コロナウイルス感染症にご注意ください＝
感染の疑いや症状に不安がある場合は、丹波健康福祉事務所（電話 0795-73-3765）又は、発熱等受診・相談センター（電話 078-362-9980）へご相談ください。

<発熱時受診相談>
右のQRコードで
ご確認ください



QRコード

